

技術の質問 即座に回答

AAC、システム構築支援

AAC（アーク、横浜市西区、浅香山満社長）は、製造業向けにナレッジ（知識）システムの構築支援事業を開始した。ノウハウの塊である社内の技術情報を学習し、イントラネットに質問を入力すると自然な文章で即座に回答が得られる仕組みを開発した。加えて米オープンAIはじめ各社が提供する生成人工知能（AI）による情報も一体的に参照できる。現在、大手製造業5社とシステム構築

に向けた商談を進めているという。

開発したプログラムを使って実際の技術情報をもとに検証したところ、90%以上の回答精度を持つことを確認した。対象データは製品ライフサイクル管理（PLM）情報（CS

V形式）、品質記録（テキスト・ワード）、ノウハウ情報（テキスト）、問い合わせ対応履歴（同）、設計課題一覧（エクセル）、提案書（パワーポイント）など。今後95%ま

での精度向上を目指す。

技術情報を学習させる知識システムはオンプレミス（自社保有）サーバーで構築し、外部の生成AIはクラウドのハイブリッド構成。社内の知識システムはオンプレミスでもクラウドでも提供可能。建設業やヘルスケア産業への展開も視野に入れる。

これにより、例えば部品や製品について設計・生産・品質保証部門でのトラブル発生や

設計変更の事例を文章で分かりやすく、手軽に引き出せるようになり、新たな設計やトラブル対応に役立てられる。利用者の声やCAE解析結果といった過去のノウハウを反映させた新製品開発、見積もり案、提案書のアイデア作成なども容易になるとしている。

AACは2017年3月設立。製造業へのITコンサルやシステム構築を手がける。社員は24人で、伊藤忠テクノソリューションズ

出身者や、元製造業のIT技術者で構成される。

製品、設計・トラブル対応

業5社とシステム構築

部門でのトラブル発生や